

2023年度

えびこスマイルキッズ 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月21日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	<ul style="list-style-type: none">・異年齢児保育ということもあり、1歳児が2歳児の行動を真似したり、2歳児が0歳児をかわいがったりとお互いに成長しあうことができた。また、戸外遊びや散歩を多く取り入れ自然とたくさん触れ合うことができた。
子どもの発達援助	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちの興味のあるものを保育の中に取り入れながら、子どもたちの成長に合わせた支援の仕方を全員で話し合い、子ども一人ひとりに対応した。
保護者に対する支援	<ul style="list-style-type: none">・送迎時、安心して保育園に預けられるようその日の子どもの様子と共に成長した姿など伝えた。・コロナの影響で制限はあったが保育参観や親子クッキングを行い子どもの様子を見て貰うことができた。
保育を支える組織的基盤	<ul style="list-style-type: none">・市の研修やキャリアアップ研修等、積極的に受けることができた。また定期的に園内研修もおこない、研修内容の共有を通して保育士一人ひとりがスキルアップを図った。

総評
<ul style="list-style-type: none">・今年度は例年よりも子どもたちの月齢の幅が広がったため、子ども一人ひとりに合わせた援助をより一層意識しておこなった。保育者同士で子どもたちについてたくさん話し、子どもの成長発達段階について共通理解もできたと思う。来年度も子ども一人ひとりに寄り添った保育ができるようにしていきたい。